

2018年 第36回 三浦ー伊東ヨットレース
(三浦ー伊東レース2018)
帆走指示書 (Sailing Instructions)

2018年5月18日

| | |
|-------|--|
| 開催日 | 2018年6月2日(土) |
| 開催地 | 相模湾(小網代沖~初島北側~伊東沖) |
| 主催 | 特定非営利活動法人 油壺湾特別泊地協会 |
| 共同主催 | 油壺ヨットクラブ 諸磯ヨットオーナーズクラブ 京急マリーナ有志 公益財団法人日本セーリング連盟 加盟団体外洋三崎 |
| 後援 | 三浦市 伊東市 伊東市教育委員会 伊東市体育協会 伊東商工会議所 伊東マリンタウン株式会社 一般社団法人伊東観光協会 伊東温泉旅館ホテル協同組合 |
| 協力・協賛 | 伊東市ヨット協会 株式会社三浦海業公社 油壺京急マリーナ 三崎マリン株式会社 山下ボートサービス 横須賀海上保安部 下田海上保安部伊東マリンパトロールステーション 伊豆高原ビール株式会社 株式会社富士急マリンリゾート 株式会社日本海洋観光 遊覧船はるひら丸 サンライズマリーナヨットクラブ サンライズマリーナオーナーズ協議会 静岡県熱海土木事務所 |

1. 適用規則

セーリング競技規則 2017-2020（以下RRS）に定義された規則。

- 1-1 IRC規則 2018 Part A、BおよびCが適用される。ただし、以下を除く。
 - (1) IRC規則 2018 22.4.2は適用しない。したがってクルー重量制限は適用されない。
- 1-2 JSAF 外洋特別規定 カテゴリー4(推奨)

2. 参加艇の義務

- 2-1 参加艇の全乗組員は、出港から伊東サンライズマリーナ入港まで、自らの安全を確保できる個人用浮具を着用すること。
- 2-2 参加申込時に記入した申告携帯電話はレースの前日からフィニッシュまで常時通話可能な状態にしておくこと。また、必要に応じて防水処理をすること。
- 2-3 初島北側通過予定時間の1時間前に以下の番号へ電話連絡をし、セールナンバーまたはリコールナンバー、艇名、および初島1時間前コールであることを申し出ること。
 - 090-7701-5851
 - 090-2452-7051(いずれも、レース当日のみ有効)
- 2-4 リタイア、事故発生、避難等の場合には、速やかにレース本部へ連絡をすること。
- 2-5 タイムリミットまでにフィニッシュできない艇は、レース本部に連絡をすること。連絡が無い場合には救助要請を行うことがある。

3. 競技者への通告

- 3-1 スタート側：6月2日（土）06:00~07:00
三崎マリン2Fに設置する公式掲示板により行われる。
- 3-2 通告を海上でおこなう場合はスタート本部船にL旗を掲揚し、口頭により各参加艇に通告する。
- 3-3 フィニッシュ側：6月2日（土）12:00~19:00
伊東サンライズマリーナに設置する公式掲示板により行われる。
- 3-4 6月2日（土）06:00までに行う通告は油壺湾特別泊地協会のWebサイトに掲載する。(http://aburatsubo.web.fc2.com/)
- 3-5 レース本部の所在は次の通り。
 - 6月2日（土）06:00~10:00 : 三崎マリン2F
 - 6月2日（土）10:00~表彰式終了 : 伊東サンライズマリーナ
- 3-6 レース運営に関する信号は陸上では発しない。

4. 帆走指示書の変更

変更は、3項に準じて行う。

5. レースのスケジュール

| | |
|--------------------|--------------------|
| 6月2日（土）07:00~07:25 | 出艇申告 |
| 6月2日（土）07:30~08:00 | 艇長会議 |
| 6月2日（土）09:25 | 予告信号 |
| 6月2日（土）17:00 | タイムリミット |
| 6月2日（土）18:30~ | パーティー、表彰式（開場18:00） |

悪天候などにより、レース委員会がレースの中止を決定した場合は、3項に従って通告するとともに、できる範囲で各艇の連絡責任者宛に連絡する。

正当な理由で三崎マリンでの出艇申告に出られない艇は、5月31日（木）18時までに21項の実行委員会連絡先宛にメールにて連絡すること。なんらかの出艇申告の方法を指示する。

6. ディビジョン、クラス

- 6-1 IRC ディビジョン Aクラス, Bクラスの2クラスを予定
- 6-2 オープンディビジョン Aクラス, Bクラス, Cクラスの3クラスを予定

7. フラッグ

- 7-1 クラス旗 (外洋三崎バージ)
本部船上で予告信号時に掲揚し、スタート信号に降下する
- 7-2 レース旗 (レース中、各艇のスターンに掲揚する)
IRC ディビジョン、オープンディビジョンとも各艇の所属クラブ旗を掲揚する。
IRC ディビジョンのみ、所属クラブ旗の下に JSAF レース旗 (白地に2本の赤い縞模様) を掲揚する。
原則的にデッキから1.5m以上の高さでバックステーまたはスターンに設置されるポール類、それができない場合にはスターボード側サイドステイに掲揚すること。
レースをリタイアした場合には直ちにこの旗を降ろさなければならない。
クラブに所属しない、あるいは所属クラブにフラッグが無いなどの理由により所属クラブ旗が無い艇は事前にレース本部に相談すること。
- 7-3 運営旗
スタート本部船、フィニッシュ本部船とも JSAF エンサインを掲揚する。

8. レースコース

- 8-1 コース
神奈川県三浦市 網代崎灯浮標付近 ⇒ 初島北側 ⇒
静岡県伊東市 伊東サンライズマリーナ沖 (およそ0.5マイル沖合)
- 8-2 コースを短縮する場合は初島北側の海面にフィニッシュラインを設定する。
およその位置は北緯35度02分45秒 東経139度10分15秒付近とするが、あくまで目安であり、差異があつたとしても救済の対象とはならない。
コース短縮をする場合でも海上での通告は行わない。
初島北側通過時にフィニッシュラインの有無を必ず確認すること。
(RRS 32.2の変更)
- 8-3 コースのレグを変更することはない (RRS 33の変更)

9. スタート

9-1 スタートシーケンスは RRS 26 を用い、全ディビジョン、全クラスとも一斉スタートとする。したがってスタートシーケンスは以下の通り。

- 09:20以前 オレンジ旗掲揚+音響1声（レース開始の注意喚起）
- 09:25 予告信号（外洋三崎バージ）+音響1声
- 09:26 準備信号（P旗を基本とする）+音響1声
- 09:29 1分前（準備信号旗降下）+長音1声
- 09:30 スタート信号（外洋三崎バージ降下）+音響1声

海象により、回答旗を用いスタートを延期する場合もある。

新たな予告信号は回答旗降下の1分後となる。

- 9-2 スタートラインは、スターポートエンドに停泊する本部船のオレンジ旗を掲揚したポールと、ポートエンドの黄色円筒形マークの間とする。
- 9-3 個別のリコールがあった場合には音響信号1声とともにX旗が掲揚される。X旗の降下は、リコール艇が全て解消した時、あるいはスタート信号の4分経過後のいずれか早い方とする。リコールを解消しなかった艇は、失格に代わる罰則として所要時間に5%のタイムペナルティーを課す。尚、リコール対象艇に対してラウドスピーカもしくはマークポートからの口頭でのアナウンスをすることがあるが、これはサービスであり、アナウンスが無いもしくは聞こえない等があっても、救済の対象とはならない。
- 9-4 ゼネラルリコールの場合には音響信号2声とともに第一代表旗が掲揚される。新しいスタートの予告信号は、音響信号1声と共に第一代表旗が降下された1分後に発せられる。
- 9-5 スタート信号から15分以内にスタートしなかった艇は審問なしに「DNS」と記録される。（RRS A4.1の変更）

10. フィニッシュ

フィニッシュラインは、本部船の青色旗を掲揚したポールと黄色円筒形マークの間とする。本部船を右にみてフィニッシュすること。

11. 失格に代わる罰則

RRS 第2章以外の規則違反については、失格に代わる罰則として所要時間に3%以上のタイムペナルティーを適用することがある。

12. タイムリミット

6月2日（土）17:00とする。

タイムリミットまでにフィニッシュ出来なかった艇は「DNF」と記録される。

（RRS 35, RRS A4, A5の変更）

13. 抗議と救済要求

- 13-1 抗議は、RRS 61に従って抗議の意思を相手艇に通告（「プロテスト」の発声および赤色旗の掲揚）をすると共に、フィニッシュ時にその抗議の意思と相手艇名をフィニッシュ本部船に告げ、自艇のフィニッシュ後90分以内（コース短縮の場合は120分以内）にレース本部（伊東サンライズマリーナ内）に提出しなければならない。
- 13-2 抗議書はJSAFルール委員会のwebサイトまたはフィニッシュ側レース本部で入手できる。
- 13-3 審問に関わる通告は、抗議受付後なるべく早く、公式掲示板に掲示する。
- 13-4 レース結果に対する救済の要求はレース結果が公式webサイトに掲示されて24時間以内とする。

14. 順位

- 14-1 IRC ディビジョン
TCCによるタイム・オン・タイムにより計算する。
修正時間が同一の場合には、TCCの数値が小さい艇を上位とする。
- 14-2 オープンディビジョン
レース委員会が付与する TCC によるタイム・オン・タイムにより計算する。
修正時間が同一の場合には、TCCの数値が小さい艇を上位とする。
- 14-3 レースの成立
各ディビジョン、クラス中1艇以上のタイムリミット内フィニッシュをもってレースの成立とする。

15. エンジンの使用

- 15-1 投揚錨、排水、充電のためにエンジンの使用することができる。
ただし、この場合にはプロペラが回転しないようにしなければならない。
- 15-2 落水者救助・遭難艇（船舶）救助・濃霧による視界制限状態かつ無風による操舵不能状態において、緊急かつ切迫した事態に対処する為（対船舶衝突回避等）。
また岩礁・大謀網などから離脱する為にエンジンの使用をすることができる。
その状況（使用した時間・場所等）をレース報告書（レース本部に備え付け）に記入し提出すること。

16. スタートしない場合、リタイアする場合

- 16-1 スタートしない艇およびリタイアする艇は、レース本部まで直ちに連絡しなければならない。
- 16-2 連絡は必ず艇の責任者もしくは相応の者が行き、艇以外の第三者に伝言を託してはならない。
- 16-3 リタイアした艇は、最初の停泊地に係船するまで、レース本部との通信／通話が可能な状態を維持すること。
- 16-4 リタイアした艇は、最初の停泊地に係船後、速やかにレース本部に帰着連絡すること。

17. 乗員の変更

参加申し込み後の乗員の変更については、原則として、6月2日（土）07：25までに書面にてレース本部に提出すること。提出に関しやむを得ない場合にはメールを許可する。

18. 運営艇

- 18-1 スタート側本部船は以下を使用する。
「ノースレディ」モーターボート 船体色：グレー
運営旗（JSAF エンサイン）を掲揚する。
- 18-2 スタート側マークボートは以下を使用する。
「トレッキー」Pursuit30 モータークルーザー 船体色：ホワイト
運営旗（JSAF エンサイン）を掲揚する。
- 18-3 フィニッシュ側本部船は以下を使用する。
「トレッキー」Pursuit30 モータークルーザー 船体色：ホワイト
運営旗（油壺特泊フラッグ）を掲揚する。

19. ごみの処分

競技者は、故意にゴミを水中に投棄してはならない。この規則は、水上にいる間、常に適用される。これは、スピナーカーをまとめる毛糸・ゴムバンドなどを含む。

20. 無線通信

20-1 音声、データ

音声やデータの送受信は許される。ただし、レース中はレースにおいて有利を得るための一般でない情報形態としての音声やデータを受信してはならない。

20-2 緊急時無線

その他緊急時の外部との通信／通話はその装置、手段、内容について制限しない。

21. 連絡先

21-1 レース本部電話

T e l : 090-2219-2701

T e l : 090-3549-4396

(いずれも、レース当日のみ有効)

21-2 レース本部メール

艇名、氏名を明記し、出来るだけ簡潔に連絡されたい。

宛 先 : 三浦-伊東レース 2018 レース委員会

メールアドレス : miura.ito.2018@gmail.com

公式ホームページ : <http://aburatsubo.web.fc2.com>

21-3 緊急時における関係当局

118 番

第三管区海上保安本部 T e l : (045) 211-1118

下田海上保安部 T e l : (0558) 22-4999

横須賀海上保安部 T e l : (046) 862-0118

以上